

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

平3-129748

⑤ Int. Cl. 3

F 02 D 11/10  
B 60 K 26/02  
F 02 D 11/02

識別記号

U 8109-3G  
S 8710-3D  
S 8109-3G

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)12月26日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全1頁)

⑭ 考案の名称 取付位置可変式アクセルペダル

⑯ 実 願 平2-38393

⑰ 出 願 平2(1990)4月10日

⑱ 考 案 者 成 沢 誠 東京都港区芝5丁目33番8号 三菱自動車工業株式会社内

⑲ 出 願 人 三菱自動車工業株式会 東京都港区芝5丁目33番8号  
社

⑳ 代 理 人 弁理士 塚本 正文

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

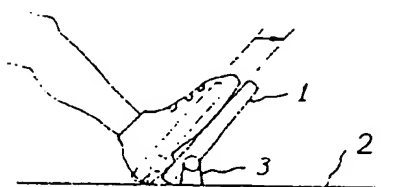
アクセルペダルの踏み込み量をその傾斜角に応じてアクセルセンサーを介して電気信号の形で出力する電気出力式アクセルペダルにおいて、ペダルとこれを枢支するブラケットとの間に直接アクセルセンサーを一体的に組み込んだことを特徴とする取付位置可変式アクセルペダル。

## 図面の簡単な説明

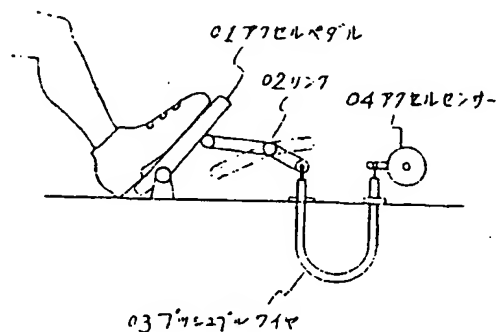
第1図は本考案の一実施例を示す側面図、第2図は公知の電気出力式アクセルペダルを示す側面図である。

1……アクセルペダル、2……フロア、3……ブラケット。

第 1 図



第 2 図



# 公開実用平成 3-129748

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-129748

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)12月26日

F 02 D 11/10

U 8109-3G

B 60 K 26/02

8710-3D

F 02 D 11/02

S 8109-3G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 取付位置可変式アクセルペダル

⑯ 実 願 平2-38393

⑰ 出 願 平2(1990)4月10日

⑱ 考 案 者 成 沢 誠 東京都港区芝5丁目33番8号 三菱自動車工業株式会社内

⑲ 出 願 人 三菱自動車工業株式会 東京都港区芝5丁目33番8号  
社

⑳ 代 理 人 弁理士 塚本 正文

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

取付位置可変式アクセルペダル

### 2. 実用新案登録請求の範囲

アクセルペダルの踏み込み量をその傾斜角に応じてアクセルセンサーを介して電気信号の形で出力する電気出力式アクセルペダルにおいて、ペダルとこれを枢支するブラケットとの間に直接アクセルセンサーを一体的に組み込んだことを特徴とする取付位置可変式アクセルペダル。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

本考案は自動車のアクセルペダル、特にフロアに対する取付位置を自由に変えることが可能なアクセルペダルに関する。

#### 〔従来技術〕

例えば乗用車では最近、第2図側面図に示すように、アクセルペダル01に運動してリンク02及びプッシュプルワイヤ03を介してアクセルセンサー04にてアクセルペダル01の踏

み込み量を検出し、これを電気信号の形でエンジンに導く電気式アクセルペダルが採用されている。

〔考案が解決しようとする課題〕

しかしながら、このような構造では部品点数が多いので、組立作業に時間がかゝり、またアクセルペダルの取付位置は固定される故、ドライバーの体格の大小によっては、シートポジションを調節してもアクセルペダルを踏む足首が疲労感を感じることがある。

本考案はこのような事情に鑑みて提案されたもので、ペダルとアクセルセンサーとを一体化して部品点数を減少することでコンパクト化すると、もに、これをフロアに対して所望の位置に容易にセットすることで、ドライバーの体格の大小にかゝわらず足首に疲労感を覚えない取付位置可変式アクセルペダルを提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

そのために本考案は、アクセルペダルの踏み

込み量をその傾斜角に応じてアクセルセンサーを介して電気信号の形で出力する電気出力式アクセルペダルにおいて、ペダルとこれを枢支するブラケットとの間に直接アクセルセンサーを一体的に組み込んだことを特徴とする。

〔作用〕

このような構成によれば、ペダル自体がアクセルセンサーと一体化されているので、配線を延ばすことで、ペダル自体はドライバーの体格の大小に応じてフロア上どこでも所望の位置へセットすることが可能となるから、便利である。

〔実施例〕

本考案の一実施例を図面について説明すると、第1図はその側面図である。

上図において、1はフロア2に突設されたブラケット3に枢着されたアクセルペダルで、その枢着部には図示省略のアクセルセンサーが配設され、アクセルペダル1の傾き角に応じた電気信号を図示省略の配線を経てエンジンに導入するようになっている。

このような構造によれば、ペダル及びセンサーが一体化されているので、従来のようにペダルのほかにリンク、ワイヤ及びセンサーの配設を要しないから、部材点数が激減し取付作業は非常に簡単となる。

従って、本考案に係るアクセルペダルはドライバーの体格に応じて最適の位置にセットすることが容易となる。

なお、適宜の縦方向及び又は横方向のスロットプレートを介して本構造のアクセルペダルをフロアに取付けておけば、体格の異なるドライバーが運転する際は、同ドライバーの体格に対してセットボルトの位置を前後及び又は左右方向に若干ずらしてセットし直すことで、容易に最適の位置にセットすることができるから、便利である。

〔考案の効果〕

要するに本考案によれば、アクセルペダルの踏み込み量をその傾斜角に応じてアクセルセンサーを介して電気信号の形で出力する電気出力

式アクセルペダルにおいて、ペダルとこれを枢支するブラケットとの間に直接アクセルセンサーを一体的に組み込んだことにより、ペダルとアクセルセンサーとを一体化して部品点数を減少することでコンパクト化すると、もに、これをフロアに対して所望の位置に容易にセットすることで、ドライバーの体格の大小にかゝわらず足首に疲労感を覚えない取付位置可変式アクセルペダルを得るから、本考案は産業上極めて有益なものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

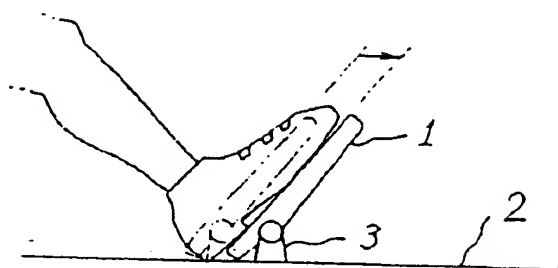
第1図は本考案の一実施例を示す側面図、第2図は公知の電気出力式アクセルペダルを示す側面図である。

1…アクセルペダル、2…フロア、3…ブラケット、

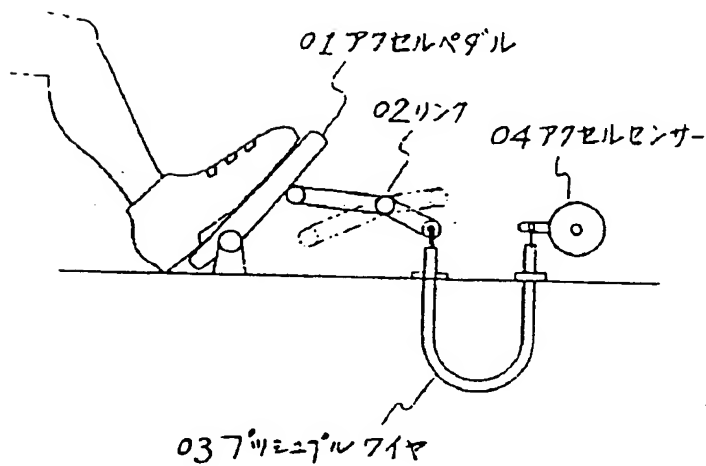
出願人 三菱自動車工業株式会社  
代理人 弁理士 塚 本 正 文



第 1 図



第 2 図



601

代理人 弁理士 塚本正文

実用 3-129748

KSR 003072